



共に創る掛川
富田まゆみ

暑さから子どもたちの健康・安全を守るために

Q エアコン設置済み教室同様、エアコンが設置されていない特別教室にもデジタル温湿度計を設置して健康・安全管理をすべきと考える。また、運動会の暑さ対策も検討すべき



設置された特別教室に設置されているデジタル温湿度計

子どもたちの健康管理のため環境整備を進めていく

A 特別教室や体育館においても温度や湿度を計測し、換気やカーテンで日差しを遮るなど、子どもたちの健康管理のため環境整備を進めています。運動会については、適切な実施時期等を各学校で検討していきます。

運転免許証返納後の生活支援は

Q 免許返納後の公共交通利用助成券の交付だけでなく、高齢者を対象とした顔の見える近隣だからこそできる地域限定の「お助けネットワーク」を構築し、高齢者の足の確保支援や実証実験ができないか。

地域の主体的な取り組みを市としても支援していく

A 協働によるまちづくりは、地域の支え合いや助け合いが基本になります。コミュニティが昔の家族のような役割を果たすものであり、協働のまちづくりの理念につながる取り組みだと思います。

このような取り組みは運転免許証返納後の移動手段の確保につながっていくものですので、地域の主体的な取り組みを市としても支援していきます。



アクティブ
マネジメント・
公明クラブ
藤澤恭子

少子化対策の根本的見直しを

Q 女性が健康で輝くためにも、少子化対策としても、女性特有の疾患について重要視すべきだと思いますが。

女性は若いうちからのがん検診や企業の健診受診が重要

A 女性特有の疾患を予防する検診事業として、乳がん検診、子宮頸がん検診、骨粗しょう症検診を実施しています。女性が妊娠を望む時に備え、若いうちから、がん検診に限らず企業の健診等を受診し、病気の予防や早期の発見・治療により、健康を維持することはとても重要と考えます。

海岸線一帯が掛川市の宝であり続けるために

Q 防潮堤完成後のますますの海岸線利活用や観光資源として、市民が夢を描ける海浜公園などの整備やさらなる展望を伺う。

心豊かに安心して暮らせる地域をアピールできると考える

A 海岸線が持つ多様な地域資源を活かし、様々な利活用の可能性があります。防潮堤完成後は、健康増進と市民交流の場、子どもたちの学習と体験の場、市民や観光客の交流の場とするなど、心豊かに安心して暮らせる地域であることをアピールできると考えています。



国安沿岸で開催された「掛川SUP大会2019」